




北陸学院大学短期大学部⑤

テーマ 及び目的	食物栄養学科学生による高校生への食育授業
対象及び 参加人数	石川県立金沢向陽高等学校 3年生 278名（31H～37H）
実施日	平成30年11月6日（金）、26日（金）、29日（金）、30日（金）
実施主体	北陸学院大学短期大学部食物栄養学科
会場	石川県立金沢向陽高等学校
スタッフ	北陸学院大学短期大学部食物栄養学科 学生
内容等	<p>20歳代の若い世代において、朝食を食べないことや、栄養バランスの悪い偏った食事が続くなど、食生活の乱れが問題になっていることから、進学や就職で親元を離れ、自立していく前段階の高校生を対象に食育を推進する目的で、年齢の近い大学生や短大生が、自分自身の体験を踏まえて食育授業を行うことがより効果的であるとの考えから、食物栄養学科の学生は、県食育事業「栄養学科学生による高校生への食育授業」の一環で、石川県立金沢向陽高等学校の3年生を対象に、出前授業の先生として学校に出向き、「バランス良く食べる方法」をテーマに授業を行った。この出前授業は、昨年度に引き続き、県と金沢学院大学、金沢学院短期大学、北陸学院大学短期大学部が協働体制を組み、計画、実施した取り組みである。昨年度、高校生への食育授業で出前授業を経験している食物栄養学科の2年生が、1年生に良かったところや工夫が必要なところなどを伝えて行うなど、学年交流の機会ともなっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>
成果	<p>栄養教諭を目指している学生にとっては、実際に高校生を前にして食事や栄養の大切さを伝えることは、自分自身の学びの動機付けにもなっている。高校生と同世代の大学生が授業を行うことで、日頃の食事について具体的に考えるきっかけになったと考えられる。</p>
今後の課題 感想等	<p>今後、継続するにあたって、高校生の実態を把握し、食育に対する関心を考慮した内容や指導媒体を工夫していきたい。</p>